

12月19日(土)～20日(日)  
2020年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第7戦 富士スピードウェイ  
予選結果速報

**野尻 智紀(チーム・ムゲン)が、驚速のコースレコードで今シーズン2回目のポールポジションを獲得!**

2020シーズン最終戦となる、2020年 全日本スーパーフォーミュラ選手権 第7戦 富士スピードウェイ 決勝が、静岡県駿東郡小山町 富士スピードウェイ レーシングコース(1周:4.563km)で行われ、野尻 智紀(チーム・ムゲン)が驚速の1分19秒972のコースレコードで今シーズン2回目のポールポジションを獲得した。

今大会も予選Q1は、2つのグループ(A組10台、B組10台)に分け、各グループ上位7台、計14台がQ2に進出するノックアウト方式で行われた。また第5戦より、低気温・低路面温度でのレース開催が予想されたため安全を考慮して、燃焼方式による加熱器(テント、ハウス方式)でのタイヤ加温が認められている。尚、Q2、Q3各セッション時間は前大会同様、各10分間で行われた。

12月下旬の寒冷な気温の下、予選Q1が開始。A組は、昨日の専有走行でトップタイムを記録した笹原 右京(チーム・ムゲン)が、1分20秒802のタイムでトップ通過。来季の去就が注目されているニック・キャンディ(ハインレイン チーム トムス)は、まさかのトラックリミット違反によりタイム削除のペナルティが下り、決勝は最後尾からのスタートとなった。続くB組は、今季シリーズチャンピオンが期待されている平川 亮(イトウチュウエネクス チーム インパル)が1分20秒698のタイムでトップ通過を果たした。

続くQ2は、松下 信治(バズ レーシング ウィズ ビーマックス)が1分20秒337を記録してトップ通過を果たし、シリーズチャンピオンを同ポイントで争う、山本 尚貴(ドコモ・チーム・ダンディライアン・レーシング)が3位、平川が6位で通過した。

注目のQ3では、まず笹原が1分20秒219を記録。その直後、山本が1分20秒155でタイムを塗りかえた後、さらに野尻が1分19秒972という驚速タイムでポールポジションを獲得した。2番手には1分19秒989で坪井 翔(ジェームス ピーエムユーセルモインギング)が割って入り、山本が3番手、平川はタイムを伸ばすことができず8番手に終わった。この結果、野尻は3ポイントを獲得し、決勝でのシリーズチャンピオン争いに挑むこととなった。

決勝レースは、本日12月20日(日)14時25分スタート予定。

\*記録の詳細は、別途添付公式通知「公式予選 正式結果表」をご参照ください。



驚速のコースレコードで今シーズン2回目のポールポジションを獲得した、野尻 智紀(チーム・ムゲン)



2020 SUPER FORMULA  
Round 7 Fuji Speedway  
12.19 20



SF-7

SUPER FORMULA 公式予選

2020/12/20 12:05



正式総合結果表

Weather : (Q1A)Fine, (Q1B)Fine, (Q2)Fine, (Q3)Fine

Track : (Q1A)Dry, (Q1B)Dry, (Q2)Dry, (Q3)Dry

Fuji Speedway(4,563m)

Pos	No	Name	Team	Engine	Best Time			Gap	Ave. km/h
					Q3	Q2	Q1		
1	16	Tomoki Nojiri	TEAM MUGEN SF19	HONDAM-TEC HR-417E	R1'19.972	R1'20.807	R1'20.824		205.407
2	39	Sho Tsuboi	JMS P.MU/CERUMO-INGING SF19	TOYOTA/TRD TRD01F	R1'19.989	R1'20.739	R1'20.838	0.017 0.017	205.363
3	5	Naoki Yamamoto	DOCOMO DANDELION M5S SF19	HONDAM-TEC HR-417E	R1'20.155	R1'20.543	R1'20.923	0.183 0.166	204.938
4	50	Nobuharu Matsushita	Buzz Racing SF19	HONDAM-TEC HR-417E	R1'20.185	R1'20.337	R1'21.214	0.213 0.030	204.861
*2	5	Ukyo Sasahara	TEAM MUGEN SF19	HONDAM-TEC HR-417E	R1'20.192	R1'21.033	R1'20.802	0.220 0.007	204.843
6	6	Nirei Fukuzumi	DOCOMO DANDELION M6Y SF19	HONDAM-TEC HR-417E	R1'20.340	R1'20.965	R1'20.954	0.368 0.148	204.466
7	65	Toshiki Oyu	TCS NAKAJIMA RACING SF19	HONDAM-TEC HR-417E	R1'20.516	R1'20.473	R1'20.864	0.544 0.176	204.019
8	20	Ryo Hirakawa	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF19	TOYOTA/TRD TRD01F	R1'20.719	R1'20.831	R1'20.698	0.747 0.203	203.506
9	14	Kazuya Oshima	ROOKIE Racing PONOS SF19	HONDAM-TEC HR-417E		R1'21.125	R1'21.524	1.153 0.406	202.488
10	19	Yuki Sekiguchi	ITOCHU ENEX TEAM IMPUL SF19	HONDAM-TEC HR-417E		R1'21.128	R1'21.501	1.156 0.003	202.480
11	36	Kazuki Nakajima	VANTELIN KOWA TOM 'S SF19	HONDAM-TEC HR-417E		R1'21.144	R1'21.125	1.172 0.016	202.440
12	38	Hiroaki Ishiura	JMS P.MU/CERUMO-INGING SF19	TOYOTA/TRD TRD01F		R1'21.287	R1'21.010	1.315 0.143	202.084
13	4	Sacha Fenestraz	ORIENTALBIO KONDO SF19	HONDAM-TEC HR-417E		R1'21.298	R1'21.466	1.326 0.011	202.057
14	3	Kenta Yamashita	ORIENTALBIO KONDO SF19	TOYOTA/TRD TRD01F		R1'21.311	R1'21.158	1.339 0.013	202.024
15	64	Hiroki Otsu	TCS NAKAJIMA RACING SF19	HONDAM-TEC HR-417E		R1'21.267		1.295	202.134
16	51	Charles Milesi	Goldex Racing SF19	HONDAM-TEC HR-417E		R1'21.782		1.810 0.515	200.861
17	7	Kamui Kobayashi	KCMG Elyse SF19	TOYOTA/TRD TRD01F		R1'21.418		1.446	201.759
18	18	Yuji Kunimoto	KCMG Elyse SF19	TOYOTA/TRD TRD01F		R1'22.311		2.339 0.893	199.570
19	12	Tatiana Calderon	ThreeBond Drago CORSE SF19	HONDAM-TEC HR-417E		R1'21.674		1.702	201.126
*1	20	Nick Cassidy	VANTELIN KOWA TOM 'S SF19	TOYOTA/TRD TRD01F		1'24.710		4.738 3.036	193.918

\*\*\*\*\* 以上予選通過 (Q1Gr.A: 1'26.458 - 107% / Q1Gr.B: 1'26.346 - 107%) \*\*\*\*\*

(Q1A)Start 9:55'00 Finish 10:05'49, (Q1B)Start 10:15'00 Finish 10:25'29, (Q2)Start 10:35'00 Finish 10:45'17, (Q3)Start 10:55'00 Finish 11:06'20 Entry :20 Start :20

R : Course Record ( Previous Record 1'22.572 )

\*1 (Q1A):CarNo.1は、統一規則第19条2。(走路外走行)違反により、当該ラップ(1'20.933),(1'20.962)削除のペナルティを科す。

\*2 (Q2):CarNo.15は、統一規則第19条2。(走路外走行)違反により、当該ラップ(1'20.412)削除のペナルティを科す。

計時委員長

祝田 久仁一

大会競技長

堀 守之

審査委員長

柘植和彦